



## CONTENTS

■平成 29 年度スポーツ振興支援事業報告書  
■平成 29 年度地域振興事業報告書

■奨学生の声紹介  
■平成 30 年度スポーツ振興支援事業並びに地域振興事業募集中

シリーズ 第25回

この本をあなたにも薦めたい

「未来の年表」  
河合雅司 (著)

## “奨学会だより”でつなぐ 夢の架け橋

伊藤青少年育成奨学会と、奨学生のみなさん、県下の高等学校の運動部並びに文化系部活動のみなさん、そしてこれから奨学金を受けたいと希望しているみなさんをつなぐ架け橋として「奨学会だより」を発行しております。わたしたち奨学会は、郷土・岐阜の未来を切り拓く青少年のみなさんが、その夢を実現することができるようにと、平成 12 年から資金援助を行っています。

しかし、みなさんが目標にしている“夢”は容易に手に入るものではありません。実現までの道のりは長く、厳しく、途中幾度となく諦めを感じることもしょくないと思います。

そんなときに、どこか遠くで頑張っているほかの奨学生の様子を目にすることができれば、きっとみなさんの励みになるのではないのでしょうか。

また、わたしたちの活動をまだ知らない方々もたくさんいらっしゃるはず。経済的理由から将来に不安を持ち、夢を諦めようとしている仲間達もいるかもしれません。

そんな方々に、みなさんの頑張っている声を聞いていただきたい——「奨学会だより」の発行にはそんな願いも託されています。

## スポーツ振興支援



平成 29 年度スポーツ振興支援校からの報告書の一部です。

### 岐阜県立大垣商業高等学校 剣道部

### 真新しい胴と垂で、全国大会へ挑む



この度は昨年度に引き続き伊藤青少年育成奨学会スポーツ振興支援事業の支援対象に大垣商業高等学校剣道部を指定していただき誠にありがとうございました。

大垣商業高等学校剣道部は本校の伝統訓である「士魂商才」の実現のため、剣道を正しく真剣に学ぶことにより、目的「人間性の向上」、目標「全国大会出場」の達成を目指し、日々活動しています。近年の公式大会では県大会第 3 位までしか届いておらず、今年こそは全国大会へという思いで、生徒たちとより一層稽古に励んでいます。

この度の支援金で、古くなった女子の試合用の胴と垂を購入させていただきました。昨年度は男子の試合用の胴と垂の購入を支援していただき、女子はうらやましく見ていました。女子たちが胴と垂を手にして喜んでいる姿を目にして、伊藤青少年育成奨学会様にはお礼の言葉もございません。

先日行われた県新人大会においては男子団体ベスト 16、女子団体ベスト 8 という結果に甘んじております。来年 1 月に行われる全国選抜大会県予選会では男女団体共に上位 2 校に全国選抜大会への出場権が与えられます。支援してい

ただいた胴と垂を全国の舞台で披露できるよう、生徒たちと精進してまいります。今後とも大垣商業高等学校剣道部へのご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。顧問：桃瀬 優

私は中学の時に高校の大会で勇敢に戦う大垣商業剣道部の先輩方に憧れて剣道部に入部しました。今はその剣道部で主将を務めさせていただき、全国大会出場を目標に部一丸となって毎日稽古しています。

特に大垣商業女子剣道部は技術的な成長はもちろんのこと、人間性の向上を最大の目的として、いろいろな場面で気の配れる人間、苦しいことから逃げない人間を目指しています。

この度ご支援いただいた試合用の胴と垂を手にしたとき、みんなで大喜びし、さっそく着けて写真を撮りました。早くこの胴の垂を他校の人たちにも見てもらいたいと思うと同時に、それに見合った剣道の力をつけなければならないと感じました。今まで以上に稽古に励み、この胴と垂で全国大会出場を成し遂げるとともに、未来の後輩から憧れるような試合をしたいと思えます。

今回のご支援、本当にありがとうございました。伊藤青少年育成奨学会様の期待に応えられるよう部員全員で努力していきます。これからも応援よろしく申し上げます。部長 長屋美月

### 岐阜県立揖斐高等学校 フェンシング部

### 多くの子どもたちにフェンシングの道を拓きたい



初夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、伊藤青少年育成奨学会スポーツ振興支援事業に本校フェンシング部をご指定いただきまして、誠にありがとうございます。おかげさまで、フェンシング用品(ユニホーム上下・半袖プロテクター・フルーレ剣)を購入することができ、生徒はもちろん教職員も大変喜んでおります。

さて、日本フェンシング界は近年オリンピックでメダルを獲得するなど、大変注目を浴びています。そのような状況で毎年 4 月には多くの本校新入生がフェンシング部に体験入部に来てくれます。フェンシングを体験して、「とても楽しい。」や「もっとフェンシングがしたい。」等の声が多く聞かれました。

また、毎年夏休みに地元の小中学生を対象にしたフェンシング教室を実施して多くの子どもたちにフェンシングを体験していただいています。どの子どももフェンシングが楽しかったと言ってくれました。

しかし、フェンシングを始めるとなると、道具にかかる費用が高いのではないかと心配をし、フェンシングから遠ざかってしまうのが現状です。せっかく

フェンシングが楽しくてもっとやりたいと思ってきている子どもたちがいるのに、フェンシングをさせてあげられない状況を変えたいと思っていました。

今回の支援金で購入させていただきましたフェンシング用品は、フェンシングの練習で一番大切な電気ファイティングという実践練習を行うのに必要不可欠なものです。これまで電気ファイティング無しの基本練習ばかりだったのが、実践練習もできるようになり、生徒たちは目を輝かせながら練習に取り組んでいます。生徒からも「電気ファイティングをやってみて、相手に勝ちたいと強く思うようになった。」という声が聞こえてきました。生徒たちはもっともっとフェンシングがやりたいようです。

何を始めるにしてもお金はかかるとは思いますが、経済的な理由で子どもたちがやりたいことを諦めさせてしまうことは大変残念なことです。しかし、貴会からのご支援もあり今年度は多くの生徒が入部をし、一生懸命フェンシングに取り組んでいます。フェンシングに限らず多くの子どもたちが貴会からの支援で救われることを、また大きく成長してくれることを強く望みます。

最後になりましたが、田代理事長様をはじめ、貴会の皆様のみならずのご健勝とご発展を心よりお祈りいたしますとともに、この度の温かいご支援に対し、本校フェンシング部一同、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。顧問：上野豪史

私は揖斐高校に入学をして、何か運動系の部活動に加入をしたいと思っていました。その中でフェンシングの仮入部の体験をして、フェンシングの楽しさを知ることができました。仮入部の時に電気ファイティングをさせてもらい突くことの楽しさや難しさ、フェンシングの奥深さを感じました。それと同時にフェンシングをするのにこれだけ多くの道具や防具を揃えなくてはいけないのかと不安に感じました。

しかし、今回ご支援をいただいたフェンシング用具は私たち部員だけな

く、これから揖斐高校フェンシング部に入部する後輩たちの大きな助けになると思います。一人でも多くの方が少ない負担でフェンシングを始められるようご支援いただいたフェンシング用具は大切に、後輩たちにつなげていきたいと思っています。もちろん、私もこのフェンシング用具で全国の強豪たちと力いっぱい戦っていきたいと思います。

今回のご支援本当にありがとうございました。 主将：塚下 竜次

## 地域振興支援

平成 29 年度文化系部活動支援校からの報告書の一部です。

### 岐阜県立大垣南高等学校 オーケストラ部

### 今まで以上に楽器を大切する心が生まれた



この度は伊藤青少年育成奨学会文化部支援事業に、本校オーケストラ部を指定いただきまして、誠にありがとうございました。

オーケストラ部は、岐阜県に唯一の部活動です。年に一度、東京都で行われる全国高等学校オーケストラフェスタでは、関東の高等学校のす

ばらしさ、レベルの高さに、毎回驚き、本当に同じ楽器で演奏しているのだろうかとか大きな衝撃を受けています。また特に弦楽器は、競いながら上達する相手が、近くには部内にしかいません。集団として、前向きに進んでいけるかどうかは、一人一人のモチベーションを高く維持できるかによります。

今年度、昨年度の高校見学会で私たちの演奏を聴いて、ぜひ南高に入学してオーケストラ部で弦楽器が弾きたいと強い希望をもった生徒が、何名もいました。しかし、ヴァイオリンとヴィオラの台数が足りず、他のパートに移ったり、交代で使用したりしながらここまで活動してきました。また、現在私たちが使用している楽器は、創部以来、先輩から代々受け継がれてきたものですが、中には、楽器の指板がすり減って弾きづらくなってしまっているものや、ケースの持ち手やファスナーが壊れてしまい、それでも接着剤や糸で直して使っているものもあります。今回、新しいヴァイオリンの本体 2 台と弓を 2 本、ケースを 2 個、新しいヴィオラの本体 1 台と弓を 1 本、ケースを 1 個購入させていただきました。部員たちは、新しい楽器に目を輝かせ、みんなで、交代で試し弾きをしていました。

新しい楽器はくせがついていない分、かなり弾き込まないと良い音が出ません。そこで、誰が使うのか相談して決め、一番朝練に熱心に参加している生徒がしば

らく弾き込むことになりました。ケースは、持ち手が取れてしまって、中の布がはがれてしまっているものと交換することができました。弓は、今までは定期的に毛替えをする際に代わりの弓がなく、OB や顧問が弓を貸したりしながら練習してきましたが、そうしなくても練習できるようになりました。また、突然壊れてしまったときも、時間をかけて修理できるようになりました。新しい楽器を購入できたことで、部員全員が、今まで以上に自分が使わせていただいている楽器を大切に扱うようになりました。これから、他の楽器たちと同様、大切に使用させていただきます。

最後になりましたが、田代理事長様をはじめ、貴会の皆様のみますますのご健勝とご発展を心よりお祈りいたしますとともに、この度の温かいご支援に対し、オーケストラ部一同、心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

顧問：可知宏子

この度は、新しいヴィオラをありがとうございました。私は入学して 2 日目の 2・3 年生との対面式の時にオーケストラ部の演奏を聴いて、私もこんなふうに入部して音楽で楽しめたいと強く思いました。また、岐阜県下唯一の部活動で、人にはない特技が欲しいと思い、入部しました。

新しいヴィオラは音の響きが良くて、いつまでも弾いていたいといつも感じます。もっとこの楽器の良さが生きるように自分もうまくなりたいと思います。今、ヴィオラパートは引退してしまった先輩方と比べると、まだ、練習すべきところが山ほどあります。私は今、自分の練習だけでなく、自分たちが先輩方から受け継いだ技術を後輩に伝えていかなければならないと痛感しています。それは、とても大変なことですが、日に日に自分たちが上達していることが感じられるので、努力した分だけうまくなれると信じて、パート全員で練習に励みたいですよ。

これからも大切に演奏し、受け継いだ技術を後輩に伝えていきます。本当にありがとうございました。

ヴィオラ 安藤希帆

### 岐阜県立東濃実業高等学校 吹奏楽部

### マーチング専用楽器の導入で大きく前進



向春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年度、伊藤青少年育成奨学会文化部支援事業に本校吹奏楽部をご指定いただきまして、誠にありがとうございました。おかげさまで、念願であったマーチング専用楽器であるスーザフォンとマーチンググロッケンを購入する

ことができ、部員関係者一同大変喜んでおります。

さて、本校吹奏楽部は、平成 27 年度よりマーチングに取り組んでおり、本年度で 3 年目となります。マーチングを行うためにはマーチング専用楽器が必要となり、いずれの楽器も大変高価であることから購入することがなかなか難しく、特に今回購入させていただいたスーザフォンについては、これまでは周辺の学校や団体からご無理を申して借用しておりました。他団体の楽器を借用しておりますので、当然、長時間の利用はできませんので、どうしても満足いく練習を行うことができず本番に臨むことが殆どでした。

本年度、スーザフォンを購入できたことにより、満足いく練習を普段からいつでも行うことができるようになり、また、マーチンググロッケンを購入できたことにより、マーチングで演奏できる曲のレパートリーも大変広がりました。おかげさまで、今年度で 3 度目の出場となった東海マーチングコンテストでは、昨年度までとは見違える程の進歩を遂げた演技を行うことができ、一部の審査員からは本校では初となる東海大会 A 評価を頂く等、昨年よりも高い審査結果を上げることができました。また、本校の演技を観覧して

いた周囲の関係者の方々からも、今年度の進歩は大変大きいと高評価を頂きました。これらの評価が生徒たちにとっても大変励みになっており、更なる向上を目指し、毎日一歩ずつ前進していけるよう頑張っております。

最後になりましたが、田代理事長様をはじめ、貴会の皆様のみますますのご健勝とご発展を心よりお祈りいたしますとともに、この度の温かいご支援に対し、部員関係者一同心より感謝御礼申し上げます。ありがとうございました。

顧問：加地寛人

謹啓

盛夏の候、貴財団いよいよご隆昌のこととお慶び申し上げます。

日頃は、東濃実業高等学校吹奏楽部の活動に大いなるご理解とご厚情を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、この度は過分なる助成金をいただきまして誠にありがとうございました。おかげさまで、念願であったスーザフォンを購入することができました。部員関係者一同、深く感謝いたしております。

購入しましたスーザフォンは、9 月に出場するマーチングコンテストをはじめ、各演奏行事において大切に利用して参ります。スーザフォン購入により、演奏形態や演奏レパートリーの幅も大きく広がりますので、今後の演奏活動に大きな期待を抱いております。これからも、本校吹奏楽部の活動に益々力を注いでいく所存でございます。

どうぞ、今後もお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。まずは略儀ながら書面にてご挨拶申し上げます。

謹白

東濃実業高等学校 吹奏楽部一同

**伊藤 宗人**

名古屋大学  
工学部 4年  
(岐阜県立恵那高等学校 出身)

**CDMA 方式による光無線通信の有効性を研究**

4年生は研究が学業の中心であるため、自身の研究と進捗状況について述べさせていただきます。現在の研究テーマでは光無線通信を題材として扱っています。光無線通信はLED光源やレーザーの光を用いて行う通信方式であり、LEDの普及に伴い、電波を用いた既存の無線通信に代わる新たな通信方式として注目され、研究が進められている分野です。

自身の研究では複数の送信機から単一の受信機に情報を伝達するような状況を想定しており、光無線通信CDMA方式と呼ばれる通信方式とその課題について研究を進めています。中でもCDMA方式で特徴的な課題として「遠近問題」が挙げられます。これは各送信機間と受信機間の距離や位置関係によって生じる問

題です。解決方法として受信機にハードリミタと呼ばれるシステムを導入する事をこれまでに検討し、シミュレーションでは有効であると証明されましたので、現在、実際のLEDや光センサを用いて実験を行っても有効と証明できるか、という点に注目して研究を進めています。

10月までの成果としては、実験環境が暗室である事、通信距離が40cm以下、通信台数2台までであれば、ハードリミタが遠近問題の解決方法として有効であると実験的に示すことができました。この結果は3月に東京で行われる電子情報通信学会大会で発表することを目標に、同大会に申請中です。

私は大学院進学後も同研究テーマを進める予定です。まだまだ様々な課題がありますが、正しい手順を考え研究を進める事で、CDMA方式における光無線通信の有効性を立証していきたいと考えています。

**小田川 祐希**

愛知県立芸術大学  
美術学部 3年  
(岐阜県立多治見高校 出身)

**美術史を学んだからこそ分かる価値**

先月、古美術研究旅行で奈良・京都へ行ってきました。これは隔年の行事で、東大寺や平等院鳳凰堂などの国宝、重要文化財を美術史の観点から調査するものです。一週間で行くつもの寺社仏閣を拝観し、中には一般公開されていない御堂を特別拝観できる機会もありました。

美術の研究をする者として日本古来の仏像や障壁画について日々学んでいますが、触れるぐらい近くで実物を鑑賞できたことは貴重な体験でした。中国から伝来した仏像が徐々に日本独自の

造形へと変化した様や、薄く切った金箔による微細な表現、わずかに残っている顔料の鮮やかさを確認することができ、改めて当時の職人たちの技量を実感しました。また、本堂の内部においては本尊の左右に脇侍が、さらに外側に四天王像が配置されている様は空間全体として仏教界が完成されており、圧巻の見応えでした。

今回拝観した寺社のほとんどが小学生の時に訪れたものですが、当時は価値が分からなかった仏像や障壁画の数々が今となってはまるで違うもののように見え、大変驚きました。それと同時に、美術史を学んできたからこそ分かる価値があると実感し、美術大学という環境で学べていることの嬉しさを感じました。

**濱島 栞**

南山大学  
経営学部 2年  
(岐阜県立大垣商業高等学校 出身)

**企業が必要とする人材とは**

2年生に進級し、去年よりも様々な分野を学んでいます。今年からクォーター制度に変わり、時間割の都合上、学部で設定された授業だけでは取れるものが少なくなりました。しかし、その分、他学科の授業が受けやすくなりました。今期は経済学や人文学の授業も履修しました。

経営学部では、会社の組織や労働などについて学ぶことが多いのですが、経済学の授業は視点にする範囲が広く、国際的な金融に関してや日本の景気の動向についても学びました。その中でトヨタの人事の方からお話を聞く機会があり、とても貴重な体験を

させていただきました。

その中で特に印象的だったのが、欲しい人材の話です。すごく単純なことばかりだったのですが、私にはいずれも欠けていて自分の未熟さを感じました。これから会社で働く上でも、これからの生活の上でも将来の自分についてとても深く考えさせられました。また、大学生活をいかに有意義に過ごすかが大切だと感じました。

3年生から経営演習というゼミナールが始まり、地元の企業について知る機会が増えます。また、授業の一環で、社会で活躍する先輩のお話も聞くことができます。3年生に進級するまでに自分の大学生活の中でできることを考え、自分の進む方向もおおよそ決めていきたいです。

**津村 紀華**

明治大学  
経営学部 1年  
(岐阜商業高校 出身)

**実践的講義で知る“社会で求められるスキル”**

私は前期、経営総合講義Aという授業を受講しました。この講義は経営を学んでいく中でも難しい講義で、そこで共同印刷と京王電鉄、二社の企業から実際のビジネスシーンにおける課題をご提示いただき、6人グループで課題解決し、企画を企業に提案する取り組みを行いました。

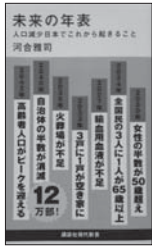
企画を提案するには、現地調査を通して、基礎調査、分析をし、誰にどんなサービスを提供するのか、そのサービスの具体的な内容、販促方法、課題整理と解決策の提示まで考えなければならぬことを学びました。

実際にチーム全員の知恵を絞って良い企画だと思って提案しても、上司の方から課題点をたくさん指摘されてしまい、事業化に

繋がる企画を提案する難しさを実感し、今まで通用していた教えられたことを理解し正解のある問題に解答を出すという、高校生の考え方のままでは社会で全く通用しないことを痛感しました。

私は経営総合講義Aを通して、社会で求められているスキルとはどのようなものなのか気づくことができました。コミュニケーション能力、プレゼンテーション力、発想力、行動力、目的思考力、志向力、実行力、パソコン技術など、企業で活躍するにはこれらの力が必要不可欠だと感じました。

これからも大学の経営学の授業を通じ、積極的に議論に加わり、経営者として視点を培い、企業や組織の運営の仕方を学んでいきます。また、簿記論の授業では、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表から企業の状況を把握する力を身につけていきたいと思っています。現在はTOEIC試験に向けて英語の勉強を積極的に取り組んでいます。成績を落とさないように日々努力していきます。



「未来の年表」

河合雅司 (著)  
出版社: 講談社現代新書

### 「未来の年表」

河合雅司 (著)

「日本の人口は減っていく。この先どうなるのだろう。」と考えている人は多いと思います。若い世代ほど人口減少問題を自分たちの問題として考え、強い関心を持っているのではないのでしょうか。

第1部「人口減少カレンダー」では2065年までに起こる現象を体系的に示して

います。第2部「日本を救う10の処方箋」では問題への対策を具体的に示しています。

2050年には、世界的な食料争奪戦に巻き込まれ日本の人口が減少する一方、世界人口は増え続け100億人にせまろうとしています。

人口減少も少子高齢化も一挙に解決する方策などはありませんが、現時点で考えられる方策を記述してあります。

本書で書かれている年表よりもっと悪い方向に変わるかもしれません。あるいは有効な

対策が実施され、人口減少を強みまで変えることに成功するかもしれません。

いずれにしても、特に若い世代に、これからの日本社会・日本経済を考えるうえで参考になると思います。

## 平成30年度 スポーツ・文化系部活動振興支援事業並びに地域振興事業支援金 募集中!

詳細につきましては、下記財団ホームページをご覧ください。事務局へお問い合わせ下さい。

締切日 (消印有効)  
平成30年4月30日

### スポーツ・文化系部活動振興支援事業

#### ■事業の概要

高等学校運動部及び文化系部活動のなかで、大きな目標を持ち、日頃から積極的な活動を実施している団体や、十分な活動時間が持てないなか活発に活動している特別支援学校等に対して、支援することを目的としております。

#### ■審査基準

- ① 支援金は部活動向上のための商品、什器・備品等の購入のための支援金であり、遠征・宿泊費等は支援できませんのでご注意ください。  
原則として、パソコン、ユニフォームも対象にしておりません。
- ② 活動内容が、部活動等を通じて豊かな人間性を確立するという目的に沿っているか、といった観点から審査いたします。必ずしも、よい成績を収めるためでなくてもかまいません。もちろん、独自の取り組みの結果として好成績を収めている場合は評価いたしますが、過去の成績だけで選考することはありません。

### スポーツイベント

#### ■事業の概要

当事業は、岐阜県内で開催される小・中・高生を対象としたイベントで、青少年の健全育成に寄与することを目的としております。  
活動内容が、スポーツを通じて、仲間とともに力を合わせて心・技・体の鍛錬を重ねる活動であるかどうか、といった観点から審査いたします。  
必ずしもよい成績を収めるためでなくてもかまいません。  
予算の許す範囲で助成いたします。

#### ■審査基準

- 助成対象は、岐阜県内で今事業年度(4月～翌年3月)に行なわれるイベントで、営利目的ではないことを条件としております。  
助成申請があったイベントに対し助成をする応募型の助成で、青少年の健全育成または地域の活性化に資するかといった視点に立ち選考し、選考の結果、当法人が必要と認めた額を助成いたします。  
ただし、下記のものは対象外となります。
- (1) 個人的な事業
  - (2) 毎年継続的に行なわれる恒例的な事業の複数回の助成(一回限りならば助成可能)
  - (3) 目的が明確でないもの
  - (4) その他、当財団がふさわしくないと判断したもの

### 地域振興事業

#### ■事業の概要

当事業は、地域の各種団体等が取り組む様々な地域振興事業に資金の助成を行なうことで、人材の育成または地域の活性化に資することを目的としております。

#### ■審査基準

- 助成対象は、岐阜県内で今事業年度(4月～翌年3月)に行なわれる文化・教育・国際交流等に関する事業活動で、営利目的ではないことを条件としております。  
助成申請があった事業活動に対し助成をする応募型の助成で、人材育成または地域の活性化に資するかといった視点に立ち選考し、選考の結果、当法人が必要と認めた額を助成いたします。  
ただし、下記のものは対象外となります。
- (1) 個人的な事業
  - (2) 毎年継続的に行なわれる恒例的な事業の複数回の助成(一回限りならば助成可能)
  - (3) 目的が明確でないもの
  - (4) その他、当財団がふさわしくないと判断したもの

#### ■選考の流れ(全事業共通)



※高等学校の部活動は学校長を通じて、奨学会へ申請書を提出してください。